

SHIN CLUB 115

(株)ユニホー辰カンパニー 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



【集合住宅SK】南西側壁面 撮影：アック東京

今月のトーク/monthly talk

創立11年目を迎えて

弊社は、平成11年10月1日に創立し、本年10月1日で創業11年目に入りました。これまで試行錯誤しながら、このような創立記念日を迎えることができましたのも、ひとえに皆様方のご支援ご指導の賜物と心からお礼申し上げます。

巷では依然として、「不況」という言葉が挨拶代わりとなっており、建設業の倒産も止む気配がありません。そのような環境の下、おかげさまで弊社はここまで比較的その影響を受けずに推移してまいりました。

日本はこの秋の衆議院選挙で劇的な政権交代を迎え、大きな歴史の変換点に立ちました。新しい党首は、環境立国としての立場を世界に向かってアピールし、日本が新しい時代を先頭に立って切り拓いていくのだという姿勢を表明しています。

弊社にもこの10年の間に次々と新しい社員が入社し、日々成長しています。これからも社会の役に立つ会社としての姿勢を明確にし、これまで以上にお客様から吟味されて選ばれる魅力ある会社となるよう、社員一丸となって邁進してまいります。

今後とも皆様のご支援、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

株式会社ユニホー辰カンパニー 執行役社長 森村 和男

集合住宅 S K

区分所有に分筆線に合わせて、2棟構成にした賃貸集合住宅

三軒茶屋の駅から徒歩10分という閑静な住宅街。土地を相続されたご兄弟が、賃貸集合住宅に建替えるというプロジェクトである。オーナーからは「分筆線に合わせて、正確に区分された2棟構成の集合住宅を」という条件が与えられた。それぞれ最上階をオーナー邸とし、下層を賃貸12室（うち1室はオーナー利用）としたプランで応え、2棟の繋ぎ部分を構造エキスパンションジョイントにして共用の階段・アクセス通路とした。

周辺は細い街路が多く、近隣に配慮し、下層階はコンクリートの閉じた空間とし、最上階のオーナー邸をガラス壁面の開放的な空間とした。2棟を繋ぐグレーチングの通路は、トップライトからの光で1階エントランスまで明るい。この繋ぎの空間は、家族の固有の領域を維持しながら、2件のオーナーと店子の新しい関係を創出する空間でもある。

これまで駅から遠く、集合住宅のエリアではなかった都心の住宅街でも、今後、このようにオーナーが相続により、自宅を借家付きの集合住宅にするという小さな開発が増えると予想される。その中でも、それまでの戸建住宅以上に、安定した新しい地域社会を再生・維持させる機会が求められていくことだろう。

広々とした屋上庭園は都心であることを忘れさせてくれる伸びやかな空間となっている。

(北山恒氏談)



①



②



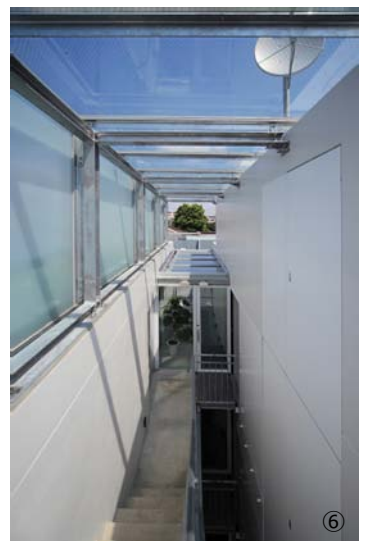
③



④



⑤



⑥

①全景。南西と南東の角地に建つ。南西は遮熱塗装、南東はコンクリート打ち放しの壁面②3階オーナーA邸リビング。直径60mmの円柱が鉛直力を受けている。開放的なガラス壁面の壁③3階オーナーB邸のリビング。高度斜線にあわせて傾いている打ち放しコンクリートの壁面。ガラス壁面には、半透明と遮光の2段階のブラインドを付けて、隣家に配慮している④賃貸103号室。リビングは半地下になっている⑤A邸屋上庭園。デッキも設けられ、芝生が心地よい⑥エキスパンションジョイント部分を最上階から見下ろす。トップライトからの光が下層まで届く。

所在地：世田谷区

構造：RC造

規模：地下1階、地上3階

用途：共同住宅

設計：北山恒 +architecture WORKSHOP

構造設計：構造計画プラスワン

設備設計：創設備設計事務所

弊社施工担当：高島、中川、常田

竣工：2009年7月

撮影：アック東京

日本盲導犬総合センター

東京大学准教授・千葉学建築計画事務所 / 千葉 学

日本盲導犬総合センター
(静岡県富士宮市)

撮影：西川公朗

Manabu
Chiba

撮影：アック東京

今月は、2009年度日本建築学会賞作品賞を受賞された、千葉学氏をお尋ねしました。受賞作「日本盲導犬総合センター（2006年竣工）」は、静岡県富士宮市に造られた、盲導犬の育成と活動を社会に伝える施設です。盲導犬を訓練するための「守られた環境」とあると同時に、盲導犬を通じた福祉活動を広く知ってもらうための「開かれた場所」という相矛盾する側面を、「機能ごとに建物を分け、コテージに見立てて回廊でつなぎ、相互の距離をデザインすることによって両立させている」というものです。富士山の雄大な景色をバックに、黒い勾配屋根が印象的な建物です。

—シルバーウィーク中は海外にいらしていたそうですね。

千葉：この秋からスイス連邦工科大学（ETH エーテハー）で教鞭をとることになり、3週間に1度の割合で通うことになりました。スタジオ制で学生は36人。教育水準も高く、真面目な学生ばかりでこちらも背筋が伸びる思いです。

—東京大学でも授業があるので、お忙しくなりそうですね。

千葉：研究室を持ったのが2001年ですから、もう8年になります。あつという間ですね。

—建物を建てる上で、いつも心がけていらっしゃるなどがありますか。

千葉：賃貸の集合住宅でも、個人邸でも、「盲導犬センター」のような施設でも、その都度巡り合った仕事に対して最大限努力すれば、面白いと思ってもらえるのではないのでしょうか。ただ、設計するときにはいつも思っていることは、ちょっと乱暴かもしれませんが、「究極的にはどんなところでも住める」ということです。「その中で建築家は何をどこまで作るのか」ということを常に意識しています。上質な素材であったり、至れり尽くせりのプランであったり、それも大事だけれども、むしろ素朴な場所だけあれば、人間は住めるのではないかと考えています。

「盲導犬センター」も犬の施設ではありますが、集合住宅を作っていることと変わりはありません。人間は穴倉に入れば安心して飯が食える、ちょっとしたシェルターがあれば皆でご飯が食べられる。人間も最終的には動物で、

一緒にいて安心だったり、危険を感じたり、居心地が良かったり、最後はそういうところで判断するから、どう配置すれば一人でいられるか、群れとしていられるか、という身体的な要素を大事にしているといえますね。

—最近の若い人は自分の部屋にこもった状況でもITを通じて、グローバルな世界に通じている感覚が当たり前です。物質的な欲望も非常に希薄だったりします。

千葉：確かに、こもるのは良くないとは思いますが、同じ会社、組織の中でもメールでコミュニケーションを取る時代です。一緒に空間で話をするとか、より空間に関わっていくことを考えたいとは思いますがね。

今、身体と思考がずれているとは思いますが。そういうところは時代ですから、我々も同じだとは思いますが。一方でもう一度身体感覚を取り戻すという空気が現われていることも感じます。最近では学生が、「人と人の距離をどうデザインするか」という設計テーマを選んでくる場合が非常に多い。すごく敏感なのです。付かず離れず、でも離れていればまた寂しい。ある意味、身体接触機能が「このままではまずい」「人と人は一応群れていないとまずい」ということが、直感的にわかっている。「そのことをどうやったら、再び取り戻せるのか」ということを考えている。ゆり戻しが来るのかな、という気はします。

—今後のご予定などお聞かせください。

千葉：町役場の仕事があり、あと幼稚園の設計を行うことが決まっています。幼稚園は、長年やってみたかったテーマです。「人間の本質的、動物的な部分に興味がある」と先ほど申しましたが、幼稚園はまさに、最初に人間が社会に出てくる場所。一度取り組みたいと思っていました。先生と園児のまとまりを大事にして、園児一人ひとりに目が行き届くようにという方針に共感しています。「盲導犬センター」ができたときに、ある建築家が見に来てくれて、「これ、幼稚園にしてもいいよね」と言ってくれたことがありました。そのコメントはうれしかったですね。すでにそういうことはやっていたのかもしれないですね。

—本日はありがとうございました。

「いつも考えていることは、人間は究極的には、どんなところにも住めるということです」

千葉 学

1960年 東京生まれ

1985年 東京大学工学部建築学科卒業

1987年 同大学大学院修士課程修了。1987～93年 日本設計

1993年 ファクター エヌ アソシエイツを共同設立

1998～2001年 東京大学工学部建築学科安藤研究室助手

2001年 千葉学建築計画事務所を設立

現在、東京大学大学院准教授

主な作品に、和洋女子佐倉セミナーハウス（竣工97年、JIA新人賞98年、BCS賞98年）、日本盲導犬総合センター（竣工06年、学会賞09年、BCS賞08年）、WEEKEND HOUSE ALLEY（竣工08年）ほか

千駄ヶ谷の事務所にて、スタッフが通勤に使う自転車に前に。趣味は自転車。中学生のときに作ったものも含め、現在11台所有。学生時代からレースに出場している。富士宮市では千葉氏の発案で自転車イベントが開かれ、「若いものにはまだまだ負けません」と話は盛り上がった。



メンテ魂

その後、
お住まいはいかがですか

第22回 大倉山の家

所在地：横浜市港北区
用途：専用住宅
構造：RC造
規模：地下1階、地上2階
設計：N+(株)辰一級建築士事務所
竣工：2003年12月



駅から3分、敷地を最大限に有効活用した、開口部の大きな住宅です。白を基調にした内外装、吹き抜けの1階のリビングが明るく、地下1階に片面が全面鏡のアスレチックルームを擁し、隣接するドライエリアには木も植えられています。1階、2階を繋ぐ長い階段室は天窓から光が届き、屋上への外階段、1,2階の大開口部の外側の壁の上に木のルーバーで目隠しがされています。窪田第一建築部部長と奥様を尋ねました。

—これまでお住まいになって、状況はいかがですか。

窪田：2年前、集中豪雨のときに、裏の私道で下水管の水があふれて、床上浸水の事故がありました。GLより、地下が50cm低く、床を貼り直す工事を行いました。中庭にピットも設けて、ポンプ2台を設置し、水は西側の排水溝に出すようにしました。

奥様：犬を室内で2匹飼っているのですが、床がすべります。

窪田：犬のために床の仕様を変更される方は増えています。フローリングよりタイルなどの方がいいですね。近年、ペット用に、滑らず、耐候性の高いフローリングも販売され、リフォーム用に人気だそうです。

—地下のアスレチックルームはよくご利用になるのですか。

奥様：今は主人が自室に使っていますが、忙しくてなかなか家でゆっくり過ごせないのがかわいそうです。

窪田：ご主人（編集者）は自転車のアマの選手でもあるし、都心のオフィスまで自転車で通勤されているそうですね。

奥様：主人は建築のデザインにこだわりがあって、例えば洗濯物などは「2階のテラスに干してはいけない」と注文があったのですが、毎日屋上まで上がるこちらは大変ですから、今では干しています。ほかにもいかにも男

が建てた家という感じで、生活する方は考えさせられることもありました。—例えばどんな点ですか。

奥様：このリビングの吹き抜けの大きなガラス窓は、室内を明るくしてくれるのですが、ブラインドを使っても夏は暑く、冬は寒いです。それから、セキュリティに配慮して北側は開口部がほとんどないのですが、近所で火事があったとき、音がまるで聞こえず気が付かなかったのです。よく考えると怖いことですよ。

—ほかに感じられていることはありますか。

奥様：換気扇もカッコいいのですが、大雨で強風の時に吹き上げにより、雨水が室内に入ってきます。

窪田：竣工直後に北側の一部は通常タイプに変更しました。

—今後のメンテナンス予定はどうなっていますか？

窪田：外周りの塗装を予定しています。中庭の床面排水溝部分の照明が8月の大雨で漏電して、ブレーカーが落ちてしまいました。9月の始めに修理しました。ほかにも設計者の希望で採用した、外部用ではない照明器具の交換を考えています。

—本日は、ありがとうございました。



①東側入口全景②エントランスには、竣工後、ガレージゲートを設けた③1-2階を結ぶ階段室④地下1階のアスレチックルーム。ドライエリアを臨む⑤裏の私道。この下の排水溝があふれ右側の住宅に水が流れ込んだ。左側は空き地

TOPICS/INFORMATION

「吉祥寺W邸 新築工事」 地鎮祭 9月2日



吉祥寺の閑静な住宅街の、家族4人のための専用住宅です。

構造：RC造
規模：地上2階
用途：専用住宅
設計：中村晃 アーキプラス
完成予定：2010年3月

「(仮称)麻布十番OTMビルディング新築工事」 地鎮祭 9月17日



麻布十番商店街のパティオの中心地に面して建つビルです。

構造：SRC造+S造
規模：地下1階、地上8階
用途：店舗・共同住宅
設計：北山恒
+architecture WORKSHOP
完成予定：2010年9月

編集後記

・「ShinClub 112」でご紹介した「富士見台の家 T邸」（東京 滝口邸）が、『ミセス 11月号』に紹介されています。「捨てられる素材を美しく再生して」というテーマで、本来の製品を製作した後、産業廃棄物とされてきた床革（とこがわ）を成型塗装してパネル化した商品を壁面に利用、ハイセンスなエコロジーの提案が目立っています（設計：桑原聡氏）どうぞご覧ください。

(株)ユニホーム辰カンパニー通信 Vol.115 発行日 2009年10月10日 編集人：松村典子 発行人：森村和男
東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL: http://www.esna.co.jp